

ゴルフ・関東女子大学秋季Aブロック対抗戦

4位で日本女子大学対抗戦へ

後半プレー安定し追い上げ

で行われた。出場5選手中、上位4人の合計スコアで競われ、専大は2日間トータル639でブロック4位となり、信天杯争奪日本女子大学対抗戦の出場権を獲得した。

小川陽子主将(経済4・香川西高)を中心に、個々の実力を高めてきた専大は、優勝を目標に臨んだ。初日は5位と振るわなかったが、2日目、雨の影響で他大学がスコアを落とす中、安定したプレーで順位を上げた。小川主将は「悔しいです。直前の合宿でメンバーと話し合いを重ね、楽しみにしていたが、空回りしてしまった。何が足りなかったのか、もう一度考え直したい」と話した。次の大会は4年次生にとって最後の団体戦。これまでの思いを胸に、優勝を期待したい。(笠井 規史・商2)



▲積極的に攻め、チームに貢献した鈴木(撮影・土屋)

上位校と互角の戦い

レスリング・全日本学生王座決定戦

2年連続ベスト8

全日本学生レスリング王座決定戦が9月18日、駒沢体育館で開催され、東西の強豪15大学が参加した。専大は昨年同様、準々決勝で敗退し、ベスト8に終わった。初戦で福岡大と対戦し、重量級の江藤公洋(経営4・福島高)、鈴木聖二(経営4・岐阜工高)、馬場貴大(経営1・島原高)が3連勝し、

準々決勝で福岡大と対戦し、重量級の江藤公洋(経営4・福島高)、鈴木聖二(経営4・岐阜工高)、馬場貴大(経営1・島原高)が3連勝し、初戦の相手は巨大。第1戦はエース・川田展行(経営3・桐生第一高)が完封し、4-0。勢いそのままに第2戦も2-1で連勝し、勝ち点を挙げ、好スタートを切った。続く国士館大戦は第

バレーボール・秋季関東大学リーグ戦

パワーバレーは健在 6連勝で3位に躍進

秋季関東大学バレーボールリーグ戦が9月11日から東海大学体育館ほかで行われている。春季に念願の1部復帰を果たした専大は、持ち前のパワーバレーで強豪チームに挑んだ。初戦の明大戦、続く東海大戦では力及ばず敗れ、黒星発進となったが、その後の6試合を全勝し、10月10日現在3位の位置につけている。今シーズンは端場翔太(経済2・東亜学園高)が好調。強力なサーブで流れを引き寄せている。「チームに貢献したい。サーブ賞も狙っていき

たい」と意欲を見せる。また、栗山雅史主将(商4・佐賀商高)も現在、得点ランキング上位でベストもと声を上げてチーム

卓球・秋季関東学生リーグ戦

女子 健闘し4位

卓球・秋季関東学生リーグ戦が9月15日から28日行われた。女子が4勝3

敗で4位、男子が2勝5敗で6位。個人では女子の高塚瑠(商4・秀光中等教育学校)が優秀選手賞を受賞した。女子主将の桑原真帆(文4・明誠高)は「春今回の経験を自信につなげ、挑んでいきたい」と熱意を語った。(小澤 幸希乃・経営2)

準硬式野球・東都大学秋季リーグ戦

リーグ制覇へ向け熱戦続く

熱い戦いが続く。(橋本 里恵・文1)



▲チームの要・捕手の児島(撮影・笠井)



▲上位進出を期し、気合が入る

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦が9月4日、八王子市民球場で開幕した。10月8日現在、5勝3敗勝ち点2となっている。初戦の相手は巨大。第1戦はエース・川田展行(経営3・桐生第一高)が完封し、4-0。勢いそのままに第2戦も2-1で連勝し、勝ち点を挙げ、好スタートを切った。続く国士館大戦は第

第38回森口メモリアルゴルフ大会(昭41法・全学応援団OB) 菊地 守男さんが優勝

福岡・夏期合宿で剣道教室 地元少年剣士90人を指導

剣道部



▲丁寧に指導する部員たち

は紅白試(昭49法)福岡県警)は合、午後はこの地域の出身である。地元の小・中学生の剣士約90人に特別指導を行った。みやま市道副市長(昭48法)が着下吉進さん(昭48法)が着

ラグビー・関東大学リーグ戦(2部) 開幕戦 今年の挽回目指す

関東大学ラグビーリーグ戦(2部)が9月26日から始まった。専大は10月3日まで2試合を終え、1勝1敗とまずまずの成績。昨年5位からの挽回を目指す。

開幕戦の相手は昨年大敗した国学院大だった。チームの精神的な支えとして、責任を持つプレーしてきただけに「悔しい」と話した。(土屋 杏有美・文2)

道慶知子さん ダブルス優勝

テニス部OGでプロブレイヤーの道慶知子さん(平16経済)ミスノ所属が、メキシコ・セリヤで開催されたITF(国際テニス連盟)主催の女子テニス1方ドル大会の女子ダブルス優勝を飾った。

記録コーナー

バドミントン部 9月11~26日、日体大健志台キャンパス、2勝3敗5位